

第22回

# 手づくり紙芝居

## コンクール 作品募集

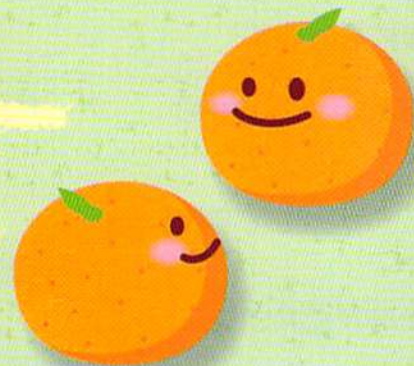
募集期間 平成27年7月23日(木)～9月9日(水)

### ふるさと和歌山再発見!

—和歌山をテーマにした作品を募集します—

和歌山の魅力を紙芝居で発信!!

和歌山が誇る人、地域に伝わる民話・伝説、  
和歌山の歴史、地域の名産品・伝統産業やお祭、  
生き物や自然などを調べて紙芝居にしてみませんか?



#### 応募資格

- ・ジュニアの部 (中学生以下) ・一般の部 (高校生以上)
- ※和歌山県内に在住または通勤・通学する方。制作を職業とする方を除きます。
- ※グループでご応募いただけます。親子、中学生以下の方と高校生以上の方の共同制作の場合は、一般の部となります。

#### 審査

- ・予備審査 ジュニアの部・一般の部別に予備審査を行います。  
審査結果は10月末までに応募者全員にお知らせします。
- ・最終審査 予備審査を通過した方(グループ)の実演による最終審査会を実施します。



#### 最終審査会・表彰式

日時：平成27年11月8日(日)  
13:00～15:30  
場所：和歌山県立図書館 2階  
メディア・アート・ホール

・ジュニアの部  
・一般の部  
優秀賞 各1点  
その他各賞

※ 応募者全員に参加賞をさしあげます

#### 応募方法

作品にあらずし(400字詰原稿用紙1枚以内)と応募票(必要事項を記入)を添えて持参または郵送してください。郵送の場合：9月9日(水)の消印有効

※ 学校でまとめてご応募いただけます。

#### 【応募(問い合わせ)先】

和歌山県立図書館 サービス課

〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7番38号 電話073-436-9500

※ **持参の場合のみ**、和歌山県立紀南図書館にご応募いただけます。

和歌山県立紀南図書館 (田辺市新庄町3353-9〈県立情報交流センター Big・U内〉)

※ 休館日：月曜日(祝・休日の場合は開館し、次の平日が休館日)・第2木曜日

主催：和歌山県教育委員会 主管：和歌山県立図書館





各項目、①②のいずれかを○で囲んでください

## 第22回手づくり紙芝居コンクール応募票

受付番号

区分	フリガナ			
①ジュニアの部 ②一般の部	作品名			
大きさ	cm × cm	枚数	枚	
フリガナ			総人数 (グループ の場合)	人
制作者(グループ)のお名前 <small>※制作者・実演者等が複数の場合は、別に名簿を添えてください</small>				
学校名(職業)			学年(年齢)	
連絡先 ①自宅	住所 〒			
②学校	学校の場合：担当者名 ( )			
	電話番号 ( ) -			
作品返却希望館	①県立図書館		②紀南図書館	

### 規格等

- 内容は、**和歌山に関するもの**に限ります。
- すべて手づくりの原画で、未発表の作品に限ります。コピー(複製)は不可。
- 既刊作品等を原作とする場合は、著作権法上の許諾を得たうえで応募してください。
- 既存のキャラクターは使用できません。(一例：きいちゃん、キノピーなど)
- 応募点数は、**1点です**。
- 大きさは、**縦約27cm×横約39cm以上、縦約43cm×横約62cm以内**とします。
- 15分以内で自演(原則)できる作品**とします。枚数は自由です。
- 紙芝居舞台を使用して**実演できる厚さの用紙で制作してください。



### 留意事項

- コンクールの冊子を作成し、応募者全員にお渡しします。(冊子の中に、応募者全員の作品名・制作者名・学校名と学年又は市町村名を書いた一覧表を掲載します。)
- 応募作品は、最終審査後、県立図書館・県立紀南図書館にて、冊子・参加賞とともに返却します。  
※郵送による返却を希望される場合は、**ゆうパック着払いにより返却**します。
- 最終審査会の実演は**紙芝居舞台を使用**します。
- 最終審査会出演者は、**当日の実演時のみ**県立図書館所有の舞台を使用することができます。  
※県立図書館所有の舞台は作品のサイズが縦約27cm×横約39cmと縦約43cm×横約62cm用のみです。  
**作品のサイズが上記以外の場合などは、各自で実演用舞台を用意してください。**
- 最終審査作品の著作権・所有権は和歌山県立図書館に帰属します。
- 最終審査作品は、複製物を和歌山県立図書館に保管し、活用します。また、各部の優秀賞受賞作品は、和歌山県立図書館の資料として活用させていただきます。

### 紙芝居(作り方のポイント)

- ・紙芝居の表紙に作品名と作者名を書きましょう。
- ・文章は一場面ごとに一枚ずつ遅れて裏に書きましょう。また、たて書きにしましょう。
- ・紙芝居の舞台を使うと、外側約1.5cmは見えにくくなるので、注意しましょう。
- ・絵は色づかいや画材を工夫して、遠くからでもよく見えるよう大きくはっきりと描きましょう。
- ・一つの画面に多くのことを描きすぎないようにしましょう。
- ・絵の背景を工夫して、主人公などがよくわかるように描きましょう。
- ・セリフや擬音などをしょうずに使いましょう。
- ・紙芝居の絵は観客から見て、右から左に動きます。登場人物の動きもそれに合わせましょう。